

全関西大学女子バスケットボール連盟

2025年度 第6回 理事会

1. 日時：2026年3月8日（日）15:30～ *インテグリティ研修終了後、開催
2. 場所：エル・おおさか 会議室 709号室
3. 出席理事数 理事総数25名中16名
野老 稔、丸岡信吾、三島隆章、坂井和明、西川幸穂、古本ルミ、佐藤亜紀子、畑岸邦枝、永田康一、今西正泰、玉井里恵、白井 徹、石橋将広、長渡由子、市谷浩一郎、嶋崎尚美
4. 出席監事数 総数 2 名中 1 名
山本 孝
5. 出席学生委員
高野美佐子、小林愛梨、阪田琴音、内藤優依、稲垣遥、小山田璃々、戸佐間楓乃、森野湖夏、小田かほり、勝井真奈美、宮崎優愛
6. 書記：勝井真奈美学生委員

・佐藤理事より、理事会の定足数について、理事25名中16名が出席しており、理事会は成立していることが報告され、野老会長を議長として議事が開始された。

・最初に、第5回理事会議事録確認が行われ、第6回理事会の議事録署名人として、畑岸理事、今西理事を指名した。

1. 審議事項

1. 2026年度全関西大学女子バスケットボール選手権大会の準備状況

高野学生委員より、全関西大会の準備状況について今年度の参加校は36校であり、前年度より1校減少したことが報告された。

大会エントリースタッフについて、今年度より、新設されたアナリスト、学生アナリストの説明、報告があり、2026年度全関西から運行予定であることが報告された。

広報渉外部から、SNS企画として、今年度からTikTokでもカウントダウンを行うことが報告された。

YouTube配信は4/26(日)ベスト8以降から配信予定であると報告があった。

競技部から、資料を基に、体育館の確保が困難だったことから、新人戦以降はさらに早い段階から予定を早めて動くことを意見された。

西川本部長より、3/5(木)に大会エントリーを締め切ったことが報告され、参加校の確認が行われた。

2. 2026年度登録・加盟等諸手続きを含む主務ガイダンスの実施について

高野学生委員長より、資料を基に、同日実施されたインテグリティ講習会、主務ガイダンスの報告があった。

西川本部長より、協賛企業拡大に向けて、学生や指導者を対象とした、各協賛企業のガイダンスも次年度以降実施を検討する方針が意見された。

3. 5月4日の体育館確保に関する対応について

玉井競技副部長より、4月29日(水)のベイコム会場確保について、施設側の都合により、5月4日(月)にラクタブドーム会場に変更になったことが報告された。そのため、同時開催による代替え試合も検討したが、大会日程の継続性や、運営面を考慮し、今年度は、ベイコム会場を利用しない考えを示した。

今年度のベイコム会場を利用しないことで、来年度以降のベイコム会場確保に影響がないことが報告された。

4. 2026年度新人戦予選のライセンス保持ルールについて

玉井競技副部長より、会場について、最終日は昨年度同様に、大浜アリーナでOTCカップと同時開催を行うことから、関西女子学連の周知に繋がることなどを踏まえ、継続して開催される。一方で、前年度の反省を踏まえ、コート環境を整えることが意見された。

指導者ライセンスについて、予選段階では参加機会を広げることを優先し、ライセンスの有無は参加条件としないこととし、推薦枠については、エントリー提出期限までにC級ライセンス保持を必要とすることが参加条件とすることが意見された。この点について、事前に各チームに伝達し、混乱を招かないように対応することが報告された。西川本部長より、OTCカップと同時開催について、観客増加を見越して、最初からパンフレット印刷数例年より、増加する見込みで考えることを意見された。

5. 協賛企業からの要望に対する対応について

畑岸広報渉外部長より、コートサイド看板Bのセット販売について、資料を基に、コートサイド看板について協賛金向上のため資料記載の値段で販売してもよいか審議が問われた。

さらに、協賛企業からの要望を受け、学生との交流の場になることから、代表者会議にて、10万円以上の協賛企業には広告の配布、15万円以上の協賛企業には5分から10分のプレゼンテーションと区分し、検討していることが審議された。

野老会長より、協賛企業との関係性が大切であることから、協賛企業からの要望に応える機会を設けるのは必要だと意見された。

畑岸広報渉外部長より、モルテン様、ミズノ様のようにスポーツ物品などの企業は紹介がしやすいが、要望が多いのは人材派遣会社であるため、どのように学生との交流の場を設けたらいいかが問われた。

丸岡副会長より、まず学生にとって、協賛企業の名前、数を周知させることが重要であり、次に企業ごとの紹介を段階踏んで取り組むという意見があった。

西川本部長より、細かいことは次回理事会にて提案するとし、現段階では方向性を詰める必要があると意見された。

畑岸広報部長より、指導者を対象にしたプレゼンテーションを考えている企業があ

るなど、ターゲットや、どのような場で機会を設けるのかの判断が難しいと意見された。野老会長より、直接会場に足を運んでいただいて個別で話を進め、要検討するべきだと意見された。

坂井専務理事より、全体を前にした一斉でのプレゼンテーションではなく、個々に話を進めていく形式か、あるいは主務を通して指導者とコンタクトをとる形式でもよいと意見された。

6. 2026年度オリジナルTシャツ・グッズの販売について

高野学生委員長より、資料を基に、今年度もオンザコート様に一任し、Tシャツ、ロングTシャツ、タオルのグッズ販売を全関西期間にて行うことが報告された。

西川本部長より、昨年の売上げが下がったことから、今年度はどのような売上げ方針かを口頭で説明があった方がよいと意見された。

高野学生委員長より、販売方法として、加盟校はTシャツ、ロングTシャツいずれか1枚の購入を要請する。2024年度の方法を再度用いることが報告された。タオルは希望者のみの販売を実施予定であり、会場にて受け渡すことが決定事項であると報告された。

坂井専務理事より、強制しない仕組みを昨年度実施したが、今年度の販売について問い合わせがあるのではという懸念点をお尋ねになった。

畑岸広報渉外部長より、昨年度の販売方法変更には、以前に強制である不満に対する電話を受けたこと、他にはオンザコートのみで実施していることへの不満が受けられていることと回答された。西川本部長より、年間の収支を見直し、運営協力費を下げたことや、公営体育館での実施に向けて、指導者に協力を案内し、強制するのではなく協力を要請する方向で購入を促進させていく方針で検討していくことが意見された。

また、高野学生委員長より、前年度の経験を踏まえ今年度は、色や一部デザインの意見など要望を伝えデザインは一任したことを報告された。

野老会長より、どのようなデザインだと購入意欲を感じられるかが問われ、

小山田学生員より、学生のトレンドを抑えたデザインだと部活がない日でも通学に着用しやすく、購入しやすいと意見された。

7. この数年の関西女子学連に関するデータについて

西川本部長より、資料を基に資料加盟校減少対策について、共有事項をお話しされた。まず、加盟校数が2022年と比較すると22%減少し、55校から39校に減少していることが報告された。そのことを踏まえて、今年度運営協力費を一律2万円にするという取り組みを行った。さらに、減少防止に向けて、参加費の削減、支払いの時期を再度検討することが意見された。

前年度はリーグ最終日に公営体育館を使用せず、大学体育館を使用したことで金額の面では抑えることができたが、来場者数減少に大きく影響しているとし、今年度からの課題とした。

今西財務部長より、世間の状況に伴って、大きく赤字になる可能性があるため、様々な販売状況が軸になると意見された。

II. 決議事項

1. 2026年度事業計画および予算について

西川本部長より、事業計画について、前年度との変更点としてスローガン、3x3の大会運営が新たに加わることが報告された。また、50周年の事業運営についても構想を練る段階で前年度との変更点であることが挙げられた。

今西財務部長より、2026年度の予算について資料を基に説明があった。

野老会長より、50周年に向けてインカレベスト4、8の目標を掲げた以上、強化部としての取り組みはないかと質問があった。

強化部より、現段階ではまだ検討していないことが報告された。今後検討していこうとしていると意見された。

坂井専務理事より、関西選抜も視野に入れて考えるという意見があった。具体的に話を進めていくとなると、主に担当するのは強化部と専務理事であり、有料試合で検討予定、収入はLCAと折半にすることで話が進んでいると意見された。

高野学生委員長より、男子学連や関東学連のように高めあえるという点から賛成という意見された。特に意見なく、決議された。

2. 予算執行のルールについて

西川本部長より、減収になることを見直して、予算管理ルールを定めるという提案があった。資料を基に各部署でおこなう決算例に沿って、説明があった。

会食については総務で管理したのち、財務から支払いを行うことに定めるとした。また、理事交通費について、期日内に提出することが呼びかけられた。

特に意見なく、決議された。

III. 報告事項

1. 2026年度当連盟主催の競技会日程と公営体育館確保の見通しについて（競技部）

玉井競技副部長より、2026年度新人インカレ大会日程の開催地は松山市、7月7日から12日であることが報告された。

年間スケジュールの変更について、入れ替え戦を1週ずらすことに伴い、秋季もずらすこと、3x3の日程は現段階では未定であることが報告された。

2. 2026年度西日本学生バスケットボール選手権大会の準備状況について

(1)2026大会に向けた準備委員会の構成について

西川本部長より、資料を基に2月25日に行われた西日本準備委員会で決定した委員会体制について報告があった。

(2)第1回準備委員会の報告

西川本部長より、資料を基に、第1回西日本準備委員会で議論した内容について報告があった。

3. 2026年度の当連盟事業への協賛企業獲得状況について

畑岸広報渉外部長より、年度末の挨拶を経て、今年度も継続していただく企業がほ

とんどであることが報告された。

西川本部長より、冠大会についても、要検討すると話があった。

4. 各部からの報告事項

・総務部

西川本部長より、ミズノ様からの副賞について、削減するという話を踏まえて、リーグ戦3部、4部、秋季大会については副賞を廃止する方針であることが報告された。また、2部の副賞について、要検討であると報告された。

勝井学生委員より、全関西表彰規定について、資料を基に追加項目の説明があった。前年度との変更点として、優秀指導者賞を廃止し、スローガンを基にした賞を提案した。

西川本部長より、あくまでも検討段階であることが意見された。

三島副会長より、評価できる数式があるということでチームだけでなく個人も検討するよう意見があった。

・審判部

嶋崎審判部長より、学生審判講習会についての派遣についての報告があり、B級以上の人が派遣される。学生内でメールの確認が行き届かず、内容に気づくことができなかったため、伝達ミスが生まれた。

高野学生委員長より、学生でもこのようなミスをなくすため、再度引き締めることが意見された。

嶋崎審判部長より、帯同審判について今年度からの体制の報告があった。

高野学生委員長より、資料を基に交流戦について報告があった。

・競技部

競技部から、TO講習会において、大阪府バスケットボール協会板垣様に依頼をしていると報告があった。

三島副会長より、閉会のご挨拶があった。

*次回は5月中旬頃開催予定

2026年度総会は、6月13日（土）または14日（日）に開催予定

（以上）